

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	消防団小型動力ポンプ整備事業	小田原市	4,400,000	4,400,000	総事業費 7,678,800 (事業実施主体 (市町村)の総事 業費)

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	消防団小型動力ポンプ整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		小田原市		
交付金事業実施場所	小田原市前川他4件			
交付金事業の概要	小型動力ポンプ5台購入			
総事業費	7,678,800	交付金充当額	4,400,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標	<p>小田原市においては、消防団活動での災害対応、特に道路が狭隘な地域での災害や林野火災に有効な「小型動力ポンプ」を、22の消防団分団に、全57台配備しています。</p> <p>配備後15年が経過したポンプは、老朽化が進行し、消防団員の活動に支障をきたす恐れがあることから、迅速かつ効果的な消火活動を行うために、経年劣化が認められるポンプを更新するとともに、機能強化を図る必要があります。</p> <p>起動時間の短縮等機能が強化されたポンプの配備により、住民の安全・安心につなげることが目標です。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>迅速な消火活動を実現するために、老朽化したポンプを更新し、スイッチで起動が可能なセルスタータ式小型動力ポンプ整備率の8.7%の上昇を目指します。</p> <p>(59.7% (34台/全ポンプ数57台) →68.4% (39台/全ポンプ数57台))</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>老朽化した小型動力ポンプを更新し、機能性の向上を図れたことにより、災害現場での効果的な消火活動が可能となるとともに、ポンプの機能強化がなされたことで、地域住民の安心・安全につなげられるとともに成果指標を達成しました。また、消防団のポンプに電源立地地域対策交付金を財源に整備した旨の表示をすることで、引き続き地域の理解を図っていく予定です。</p>			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
小型動力ポンプの購入	指名競争入札	株式会社足柄防災	7,678,800
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。